

一吟徹心霊  
一曲能興国

錦友…第320号

(令和7年1月1日)

・編集・  
一般社団法人詩吟朗詠錦城会  
・発行・  
一般社団法人詩吟朗詠錦城会  
東京都港区麻布十番2-4-14  
電話:東京03-5484-3301(代)  
〒106-0045



会長 城戸城濤

### 会創設七十周年の新春を迎えて

一般社団法人詩吟朗詠錦城会

西暦二〇二五年、昭和百年という区切りのいい新春は、また、当会創設70周年という節目の年でもあります。

皆様と共に、この一年が平和で心安らかな年でありますよう祈念したいと存じます。しかしながら、世界の情勢は

### 謹んで年頭のご挨拶を

### 申し上げます

本会顧問の諸先生をはじめ、吟界各方面の皆様、新しい年を迎えお慶びを申し上げます。昨年、錦城流創流七十周年を、本年は、錦城会創設七十周年を迎えます。会員の減少、高齢化など問題はありますが、会員一同、錦城会の更なる発展を目標に頑張つて参ります。本年も変わらぬご指導、ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。

令和七年 元旦

詩吟朗詠錦城流 宗家 山元錦城  
詩吟朗詠錦城会 会長 城戸城濤

益々混沌としており、一向にまとまる気配を見せません。ロシアと北朝鮮の急接近、イスラエルの頑なな姿勢、中国の海洋進出、米国のトランプ大統領の再登場等々、予測不能の状況が続くものと覚悟しなければなりません。国内に目を転ずれば、日本の政治情勢も不透明な状況が続くものと予測され、与野党共に、党利党略に走らず、議論を尽くして国益のため大同につくことを願つて止みません。さて、吟詠・詩舞・琵琶の世界に目を転じますれば、冒頭にも記しました通り、今年も当会創設70周年記念の年に当たります。

昨年は、と申しますと、4月7日・長崎県本部70周年記念大会、同じく4月17日・広島県本部60周年記念大会、9月29日には、鹿児島県本部60周年記念大会と、三つの県本部が節目の大会を開催されました。

この間にも6月20日・21日、

京都に於いて師範吟詠発表会並びに総会を開催、10月13日には函館に於いて全国大会を開始することが出来ました。函館での全国大会は3年前に開催寸前まで漕ぎつけたのですが、諸般の事情により中止の止むなきに至ったということもあり、会員の減少が続く中、全国会員諸兄の労を惜しまぬご協力の結果、併せて函館会員のご努力が突つての成功事例として広く全国各地での今後の展開に参考となる事と確信いたします。

11月24日(日)、新装なった東京虎ノ門のニッショーホールに於いて「吟道之碑」60周年記念、全国吟剣詩舞道大会が開催され、我が会からも40名余の会

員のご参加を得て盛会裏に終了することが出来ました。荒 國誠先生を始めとする國誠流の会員の皆様、日頃から吟道之碑の管理・諸行事の運営にご尽力下さっている地元静岡県下の世話人の皆様にご心より御礼申し上げます。

ここまで、昨年の主だった行事を列挙いたしました。本年は70周年という年でもあり、福岡での全国大会を始めとする諸行事の着実な実行に心がけ、先ずは支部・道場、そしてそれを束ねる各県本部の発展を願ひ、初心に帰つて、吟詠・詩舞・琵琶の普及活動に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、事務局体制につきご報告致します。体調不良により昨年退任された土師城皓氏に代わり、金子城大宗氏が当面、事務局長の任を負つてくれることとなりました。お見知りおきの程よろしくお願ひ申し上げます。新年のご挨拶といたします。

本部の動き
6・10・21より 6・12・10まで

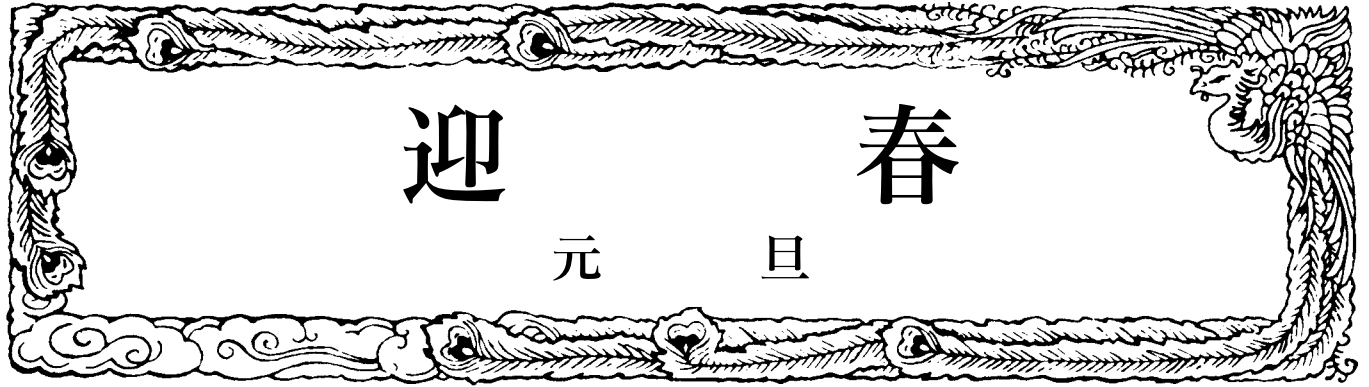
10月26〜28日 広島県本部の師範指導と昇格審査

11月2〜3日 北海道道央本部の講習研修会

11日 山口県本部の講習研修会と昇格審査

12月1〜2日 福岡県本部の講習研修会と昇格審査

6日 常務理事会



顧問  
(順不同・敬称略)

衆議院議員 麻生 太郎

元衆議院議員 久間 章生

筑前琵琶橘流日本橘会会長 橘 旭宗

(株)日本文化チャンネル桜社長 水 島 総

会長 城戸 城濤

相談役 山元錦城(東京) 理事 毎熊城明(長崎)

同 本村錦香(鹿児島) 同 土田城紘(滋賀)

最高諮問委員 高橋城伸(広島) 同 金子錦右(佐賀)

同 山元錦隆(東京) 同 中野錦修(東京)

同 村瀬城博(愛知) 監事 岩田城龍(東京)

副会長 本村錦香(鹿児島) 同 大内城晃(茨城)

同 金子城大(埼玉) 参与 本間城楓(道央)

専務理事 土師城皓(神奈川) 同 芹澤城征(福島)

常務理事 高羽城幹(神奈川) 同 海野錦麗香(茨城)

同 佐藤錦杲(神奈川) 同 金子錦要(埼玉)

理事 今井 勝(東京) 同 和田錦堯(東京)

同 東本錦怜(福岡) 同 深水城實(静岡)

同 西川錦洸(広島) 同 若月城嗣(愛知)

同 竹崎錦里(道南) 同 宮川城広(滋賀)

同 吉本城川(鹿児島) 同 塩川錦晃(大阪)

同 堀川城怨(滋賀) 同 沖浦城昭(広島)

同 鍛冶錦代(愛知) 同 山本城勘(山口)

同 後藤錦曜(長崎) 同 益田城真(福岡)

同 林 錦枝(滋賀) 同 飯田城英(大分)

同 佐藤城孝(神奈川) 同 山下城音(長崎)

同 藤田錦信(宮城) 同 吉松城勇(宮崎)

# 吟道之碑六十周年記念 全国吟剣詩舞道大会

令和6年11月24日(日)、ニッソーホール東京虎ノ門に於いて、吟道之碑60周年記念・全国吟剣詩舞道大会が開催されました。

例年、11月末の日曜日に沼津市大瀬崎に於いて、「碑前祭」を行ってききましたが、今回は、「吟道之碑」建立60周年に当たる事から、記念大会と合祀祭を併せて開催する事になりました。全国各地からはもとより、遠く米国・カナダ・ブラジルからご参加された13会派の吟剣詩舞出演者と合祀されるご遺族の方々等多くの方々に参加されました。



大会会長 城戸城濤

大会会長の城戸城濤先生の開会の言葉が続いて、第一部の吟剣詩舞の発表が行われました。昼食を挟んで、吟道之碑合祀慰霊祭が行われました。今年合祀された方を含めて現在は、一七二五柱が合祀されています。

今年、錦城会からは次の3名が合祀されました。

- 合祀者名
- 鈴木城真 (滋賀県)
- 石原城興 (神奈川県)
- 村山城機 (東京都)

合祀慰霊祭の様子



その後、第二部の発表が行われ、錦城会からは、44名が参加しました。また、出吟はありませんでした。一般参加で多くの会員が参加されました。



最後に、各会派の会長・宗家の範吟が披露され、大会は無事に終了しました。(S)

## 日本伝統文化吟友会吟剣詩舞コンクール 近畿地区決勝大会に出場し入賞する

梅雨空の6月16日、日本伝統文化吟友会吟剣詩舞コンクール

漢詩一般三部

入賞 草村靖子

漢詩一般四部

入賞 白岩照枝

近畿地区決勝大会が、大阪府富田林市で開催されました。地区予選大会を乗り越え、近畿地区決勝大会の出場権を獲得されたの出場であり、緊迫した状況に包まれての大会となりました。

おめでとうございました。又、惜しくも入賞を逃されました皆様方も来年を期待いたしてお待ちしております。

錦城会滋賀県からは、左記の皆様方10名が出場しました。

錦城会滋賀県本部、大阪府本部の先生他委員にご協力頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。

漢詩一般二部

菅井昌一郎

漢詩一般三部

美濃部智子 (錦玉)

漢詩一般四部

前川利孝 (城翔)

上山新一 (城昂)

草村靖子 (錦草)

漢詩一般四部

谷村政嗣 (城嗣)

菅井弘子 (錦弘)

白岩照枝 (錦照)

短歌一般の部

蔵口嘉寿男 (城源)

前川与晴 (城与)

審査員には、錦城流総師範・明智城秀先生、土田城紘先生が務められました。審査の結果は、次の通りでした。

漢詩一般二部

入賞 美濃部智子

(二社) 詩吟朗詠錦城会担当  
日本伝統文化吟友会 金子城大



# 有原裕絵さん、短歌一般の部に出場し 全国第一位に入賞する

第33回日本伝統文化吟友会吟

剣詩舞コンクール全国決勝大会が、あざやかな紅葉の中、11月23日大阪府岸和田市の南海浪切ホールにおいて開催されました。全国各地の予選大会を乗り越え、全国大会の出場権を獲得された出場となり、会場内は緊迫した中での大会となりました。錦城会からは、次の8名の選手が出場しました。

## 漢詩・少年の部

北中彩月(広島)

## 漢詩・一般三部

佐藤法子(神奈川県)  
佐藤典伸(広島)

## 漢詩・一般四部

林 清隆(神奈川県)

## 短歌・一般の部

有原裕絵(埼玉)

金子美奈(東京)

寒河江護(神奈川県)

## 詩舞・一般三部

中村妙子(広島)

審査員に、剣詩舞の部を、西川緑恵先生が務めました。審査の結果は、

## 漢詩少年の部

第三位 北中紗月

## 一般四部審査員特別賞

林 清隆

## 短歌一般の部

準優勝 有原裕絵  
入賞 寒河江護

## 詩舞一般三部審査員特別賞

中村妙子

誠にめでとうございました。

日本伝統文化吟友会では、『文部科学大臣賞』『県知事賞』『公財』日本伝統文化振興財団賞』を決める「出場者部門別」優秀者による吟詠の部優勝者(幼少年の部を除く)6名、剣詩舞の部、優勝者8名で本決選を行いました。この本決選には、錦城会からの出場者を残念ながら送る事はできませんでした。今後のご活躍を願っております。又、惜しくも入賞を逃された皆様方も来年を期待いたしてまいります。

開催地、日伝吟近畿本部会長鈴木永山先生、事務局長新谷邸泉先生を始め、役員・委員の先生方に厚く御礼申し上げます。

錦城会滋賀県本部、明智城秀先生、大阪府本部、塩川錦晃先生を始め大会役員として御世話取り下さいました皆様方に感謝申し上げます。

来年度は、10月26日に、岡山県倉敷市玉里市民交流センター

で開催の予定です。

尚、日本伝統文化吟友会では、全国コンクールを8地区(北海道・関東・北陸・中部・近畿・中国・四国・九州)で開催しておりますので、各地区予選会に技量の向上の一助に出場をお願いいたします。

(一社) 詩吟朗詠錦城会担当

日本伝統文化吟友会 金子城大

## 北九州地区公開温習会を開催

初めに昨年1月1日におきた大地震に

次ぎ、9月末に再度大雨での被災を受けられた能登地方の方々に心からお見舞い申し上げます。

この様な中、10月14日(祝)、北九州10地区での公開発表会が開催されました。会場は、小倉の中心地にある北九州芸術劇場小ホールです。幸い天気も良く、座席もお客様と会員で立ち見が出るほどに盛況でした。

午後1時半に県本部専務理事の益田城真先生による開会の挨拶で始まり、琵琶「茶絃録」、詩舞4題に次ぎ、男性会員による「維新の英傑」では、大画面にて白虎隊や西郷隆盛、勝海舟等が映し出されました。お客様



茶 絃 録

の中に小学生のお孫さん連れの方がいらっしやいましたが、「白虎隊は、学校で踊った」と言ってくれたと聞き、嬉しく思いました。

「書道吟」では、百一歳の佐々木城行先生が、年齢の発表と共に、立派な吟を披露され、上岡城辰先生の立派な書と共に好評で、多くのお客様から「感動した!」と言っていただきました。また、ある男性のお客様が「尺八や琵琶の演奏が珍しく、良いものをみせていただきました。国歌斉唱も素晴らしかったです。」とおっしゃっていて、お



楠 公 編

誘いました甲斐がありました。また、会場の皆様に詩吟を体験していただきたいと思い、みんなで一緒に「桂林莊雜詠」を詠ってもらい、最後は、男性陣による「楠公編」で終演となりました。会員も各役目を一生懸命に果たし、みんなで作り上げた大会となりました。

大会終了後は、隣にあるリーセントホテルでの懇親会です。ここでも宴会係の会員や元気のいい男性会員の門司港名物バナナのたたき売りに始まり、カード合わせや、桃太郎の手遊び等、年甲斐もなくはしゃいで、楽しい会でした。

(小倉支部 江口錦舟)



### 秋の温習会を終えて

暑い夏が終わり、やっと秋がやって来た11月10日(日)、信貴山観光ホテルで、大阪府本部秋の温習会を開催しました。

信貴山は、奈良県生駒郡平群(へぐり)町に位置する山で奈良県百選山の一つに選定されています。後醍醐天皇ご病氣のため、勅命により命蓮上人が、

ご本尊の毘沙門天に病氣平癒の祈願をしました。天皇のご病氣はたちまちに癒えました。よって、天皇・朝廟安隠・守護国士・子孫長久の祈願所として「朝護孫子寺」の勅号を賜る事になりました。朝護孫子寺は「信貴山寺」とも呼ばれ、多くの方に親しまれています。また、信貴山は、寅のお寺でも有名です。

今から一四〇〇年前の昔、聖徳太子が守屋討伐のため山上で祈られた時、毘沙門天が出現されたという。その時が寅の年・寅の月・寅の日・寅の刻であったというゆかりから、それ以来、虎に開運を祈る習わしになり、張り子の虎が信貴山の象徴になったものと伝えられています。信貴山観光ホテルは天然温泉も湧いています。

各支部、道場各地から開催時



2024/11/10

間11時に、誰も遅れることなく無事に集合し、久しぶりに元氣な顔にお逢いでき、秋の温習会を開催しました。



2024/11/10

久しぶりの吟の発表で、皆、精一杯声を出して頑張りました。

### 四支部合同大温習会を終えて

た。吟の発表が終わり、その後は懇親会です。美味しいご馳走を頂き、皆で和やかな時間を過ごしました。その後は、信貴山観光ということ、温泉に入られる方もおられたり、大きな張り子の虎の前で写真を撮り、足の元氣な方は、朝子孫子寺まで行かれ、お土産も一杯買って、

秋の信貴山を満喫しました。誰も怪我無く無事に集まり、温習会が出来、無事に家まで帰って頂けたことが一番の幸せです。来年の初吟会にも、皆元氣で逢えることを心より祈っております。  
(大阪府本部長 塩川錦晃)

滋賀県本部湖南地区、能登川支部・安土支部・稲枝支部・高宮中央支部との合同大温習会が能登川コミニティーセンターに於いて去る11月23日に開催されました。

令和元年に行われた24回目四支部合同大温習会から、コロナの流行で今年度まで途切れていました。5年ぶりに行われた合同温習会ですが、近年の会員減少に伴い、準備等心配されていましたが、当番支部として、それぞれを持ち場を一生懸命に頑張つて準備して頂きました。

大会が始まり、湖南地区長の「吟は心の叫びだ」とご挨拶を頂きました。久しぶりに出会うことが出来た吟友や大先輩の先生方と逢うことが出来、詩吟を通して人と人のつながりもまた、大会が有意義なものになったと



感じております。

湖南地区の支部の先生方の発表もあり、大会に華を添えて頂きました。能登川の支部長も大病の中、最後まで一生懸命頑張つていただきました。

普段のそれぞれの諸々を忘れ、一人一人、精一杯普段の練習の成果を発表する場であり、これ



ぞ「心の叫び」だと感じました。お陰様で立派な温習会になったと思います。ご出席いただいた湖南地区の先生方、また他支部の会員様にはご協力ありがとうございました。

これからも、いつまでもこの四支部合同温習会が継続し、榮えていく事を心から願います。  
(能登川支部 小嶋錦清)



新入会員の紹介  
(11/30~12/13)

大野城道場 入山智子 市川尚子  
志布志道場 大瀬良貞子 傳  
小倉支部 船木康子  
諫早支部 鹿田麻美子

おわびと訂正

前号の新入会員の紹介の中で次の方々のお名前に間違いがありました。お詫びして訂正いたします。

函館支部 溝口喜助↓溝口嘉助  
気仙沼支部 高橋聖子↓高橋誠子

岡垣支部 廣瀬映子↓廣渡映子

◆新師範の紹介◆

雅号	県名	取得年月
荒川錦喜	(鹿児島県)	6・9
土屋錦美	(愛知県)	6・10
山下城榮	(愛知県)	6・10
上田錦祥	(愛知県)	6・10
三上城与	(滋賀県)	6・10
正田錦琵	(滋賀県)	6・10
國松錦彩	(滋賀県)	6・10
内海錦諷	(宮城県)	6・11



錦城会のホームページをご覧になった事がありますか？

パソコンは難しくわからない、スマホは字が小さすぎて読みにくいと言って嫌っていませんか？  
錦城会のホームページには、私たちが習っている錦城流の色々な事が載っています。一度覗いてみませんか？

ホームページからコピーした箇所を、少しだけ載せてみます。興味がわきましたら、今すぐパソコン、スマホを動かしてみましょう!!

全国大会に参加したことがある方は、「大会記録」というところをみれば、自分が載っているかもしれないよ。(S)

◆錦城会ってなんだろう

詩吟朗詠錦城会は、詩吟朗詠錦城流 流祖・山元錦城師が、国民の道德心の高揚と青少年の善導・育成ならびに婦人の精神基盤の確立には、和漢の詩歌の吟誦こそがその神髄であると確信し、昭和29年に日本の伝統芸能の伝承と人づくり・国づくりに貢献すべく創始した吟詠の団体です。

「一吟心霊に徹す」、「一曲能く国を興す」をモットーとし、詩吟朗詠ならびに詩舞、琵琶等の伝統芸術の普及発展に努めております。

本会は他と比べても数多い1,000詩を超える漢詩、新体詩、短歌、俳句に音楽性豊かな作譜をし、詩吟のみならず琵琶、尺八、琴をはじめ、他の和洋楽器、和洋舞等を取り入れた総合芸術を披露しております。

現在4代目の城戸城濤が就任し、「質実剛健」にしてしかも優雅なる「精神の高揚」を目標に、人との「和」を大切に、一層斯道の発展に精進しております。



個人指導を原則とし、錦城流独自の分かりやすい譜づけの教本を使い指導に使用しています。

